

814.1.2 獣医関門における最高心拍数：20分以内の測定値で64拍／分。**(JEF)**

814.1.3 走行制限時間は、設営するコースによって適正速度を考慮し、設定しなければならない。走行平均速度が時速8km以上となるよう設定する。**(JEF)**

第815条 出場資格

815.1 選手：

815.1.1.14 歳の誕生日を迎える年から、すべてのエンデュランス競技会に出場できる。ただし、20歳未満の者は、保護者の同意を必要とする。**(JEF)**

公認および主催競技に参加する選手は、JEF騎乗者資格B級（エンデュランス限定）以上を取得していること。**(JEF)**

60km以上の公認競技に参加する選手は、40km以上の公認競技を1回以上完走していること。

80km以上の公認競技に参加する選手は、60km以上の公認競技を1回以上完走していること。

120km以上の公認競技に参加する選手は、80km以上の公認競技を2回以上完走していること。
(JEF)

140km以上の公認競技に参加する選手は、120km以上の公認競技を1回以上完走していること。
(JEF)

815.1.2 選手の完走記録は、JEF公式記録（データベースを参照）に基づく。**(JEF)**

815.2 馬：

815.2.1 エンデュランス競技への出場資格を得るには、5歳以上の馬であること。**(JEF)**

60km以上の公認競技に参加する馬は、40km以上の公認競技を1回以上完走していること。

80km以上の公認競技に参加する馬は、60km以上の公認競技を1回以上完走しており、かつ6歳以上であること。

120km以上の公認競技に参加する馬は、80km以上の公認競技を2回以上完走していること。
(JEF)

140km以上の公認競技に参加する馬は、120km以上の公認競技を1回以上完走しており、かつ7歳以上であること。**(JEF)**

815.2.1 馬の完走記録は、JEF公式記録（データベースを参照）に基づく。**(JEF)**

815.2.2 本条文は主催および公認競技会では適用しない。**(JEF)**

815.2.3 本条文は主催および公認競技会では適用しない。**(JEF)**

815.2.4 本条文は主催および公認競技会では適用しない。**(JEF)**

815.2.5 明らかに妊娠後期、すなわち妊娠120日を超える牝馬、あるいは離乳前の仔馬を連れた牝馬は、いかなる競技会にも参加申込できない。

815.2.6 年齢の判断は、出場資格を問題とする競技会開催日時点での年齢を勘案し、乗馬登録証に記載された信頼性のある登録あるいは獣医師による意見書のいずれかにより確認しなければならない。北半球では誕生日の起算日を1月1日とし、南半球では8月1日とする。**(JEF)**

815.3 馬の休養義務期間

815.3.1 FEIあるいはJEF主催・公認のエンデュランス競技会に出場した馬については、次の競技会出場前に強制休養期間を与えなければならない。起算日は、競技の終わった日（規定上の完走許容時間）の翌日とし、次の競技発走時の前日までとする。：

走行した距離

スタート - 46km以下 5日

騎乗者資格検定の審査基準

A 級	<p>過去 3 年以内に下記の何れかに該当する実績を有すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日本の各馬術大会 【障害】パート I ・パート II 出場者 【馬場】FEI 馬場馬術課目 ・ JEF 馬場馬術競技 M クラス以上出場者 【総合】EV100 クラス完走者 【共通】ヤングライダー選手権・ジュニアライダー選手権出場者 ・海外における活動実績 上記全日本の各競技に相当する競技実績等
エンデュランス限定	<p>下記の基準を満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催、公認競技会 40~79km を 2 回と 80~90km を 2 回 (ただし、時速 16km 以下) 完走している者。 ・あるいは最大 3 回の主催、公認競技会で累積 240km を 完走している者。
B 級	<p>実施の手順</p> <p>筆記試験、馬場馬術実技検定、障害飛越検定の順序で実施</p> <p>下記の基準を満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験 指定問題から出題 80 点以上 ・馬場馬術 JEF 馬場馬術競技 A2 課目 50%以上 ・障害飛越 安全性の観点から採点し、誘導・随伴の 2 項目ともに 6 点以上 コース図は別紙－1 参照
馬場馬術限定	<p>下記の基準を満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験 指定問題から出題 80 点以上 ・馬場馬術 JEF 馬場馬術競技 A2 課目 2013 50%以上
エンデュランス限定	<p>下記の基準を満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会受講 ・筆記試験 80 点以上 ・実技試験 <p>①エンデュランス競技のルールにのっとり 40km で行う。 ②走行時間は、最速時間 3 時間（平均速度が 13.3km/h）～ 制限時間 5 時間（平均速度が 8km/h）とする。 ③最終インスペクションでの合格（「完走」）と安全性の観点での 総合判定により合否を決定する。</p>

エンデュランスC級	<p>下記の基準を満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会受講 ・筆記試験 指定問題から出題 80点以上 ・実技試験 <ul style="list-style-type: none"> ①エンデュランス競技のルールにのっとり 20kmで行う。 ②走行時間は、最速時間 2時間（平均速度が 10km/h）～制限時間 3時間（平均速度が 6.6km/h）とする。 ③最終インスペクションでの合格（「完走」）と安全性の観点での総合判定により合否を決定する。
C級	<p>下記の基準を満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験 指定問題から出題 80点以上 ・馬場馬術（経路読み可）別紙-2 参照 50%以上

※その他基準

- ・筆記試験において、合格点に達しなかった受験者は実技検定を受けることができない。
- ・馬場馬術検定において、不合格となった受験者は、障害飛越検定を受けることができない。
- ・技能検定において、落馬した場合はその時点で失権とし不合格とする。
- ・障害飛越検定において、4回目の反抗となった時点で失権とし不合格とする。ただし、馬場馬術限定として申請することができる。なお、再度検定を受験するには15日以上の期間をおくこと。
- ・C級合格者がB級試験を受験する場合、合格後の経過日数は問わないが、C級の登録を完了していること。
- ・エンデュランスC級試験を受験する場合は、検定員からC級試験の合格が通知された段階で受験可とする。
- ・馬場馬術限定の者が限定を解除する場合は、筆記試験の馬場馬術分野と馬場馬術実技を免除する。

きじょうしゃしかく きゅう ぎのうしんさ さいてんようし
騎乗者資格C級 技能審査 採点用紙



20m×40m

じゅけんしゃしめい
受験者氏名 :

じゅん 順 序		うん 運	どう 動	か 課	もく 目	まんてん 満点	さい てん 採 点
1	A	じんじょうはやあし にゅうじょう 尋常速歩で入場				10	
	C	ひだりでまえていせき はい 左手前蹄跡に入る					
2	E	ひだり ちよつけい ま の 左へ直径10mの巻き乗り				10	
		つづ ていせきこうしん 続いて蹄跡行進					
3	FXH	なな てまえへんかん ほはば の 斜め手前変換 歩幅を伸ばした速歩 (軽速歩)				10	
	H	じんじょうはやあし 尋常速歩					
4	B	みぎ ちよつけい ま の 右へ直径10mの巻き乗り				10	
		つづ ていせきこうしん けいはやあし 続いて蹄跡行進 (軽速歩)					
5	F	みぎ かいてん おうぱくつうか けいはやあし 右へ回転 横木通過 (軽速歩)				10	
	K	みきて まえていせき はい じんじょうはやあし 右手前蹄跡に入る 寻常速歩					
6	C	みきてまえじんじょうかけあし 右手前尋常駆歩				10	
		つづ みぎ ちよつけい わの 続いて右へ直径20mの輪乗り					
		つづ ていせきこうしん 続いて蹄跡行進					
7	KXM	なな てまえへんかん じんじょうはやあし 斜め手前変換 Xにて尋常速歩				10	
8	C	ひだりでまえじんじょうかけあし 左手前尋常駆歩				10	
		つづ ひだり ちよつけい わの 続いて左へ直径20mの輪乗り					
		つづ ていせきこうしん 続いて蹄跡行進					
9	FXH	なな てまえへんかん じんじょうはやあし 斜め手前変換 Xにて尋常速歩				10	
10	MXK	なな てまえへんかん ほはば の 斜め手前変換 步幅を伸ばした速歩 (軽速歩)				10	
	K	じんじょうはやあし 尋常速歩					
11	A	ちゅうおうせん はい 中央線に入る				10	
12	X	ていし ふどう けいれい 停止 不動 敬礼				10	
		たづな の なみあし たいじょう 手綱を伸ばした常歩で退場					
					ごうけい 合計	120	

あんぜんせい かんてん
ゆうどう ふじょ すいしん そうごうてき さいてん
※安全性の観点から、バランス、誘導、扶助、推進について総合的に採点する。

ばば はいち
馬場の配置

C



けんていいんしょめい
検定員署名